

息抜きの散歩道 Vol.23

編集・発行/日本工業大学 LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
発行日：2025年4月22日 ホームページ <https://library.nit.ac.jp>

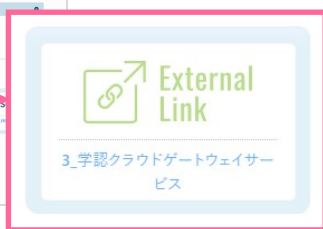
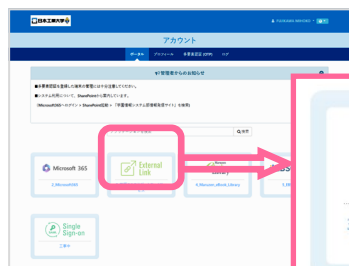
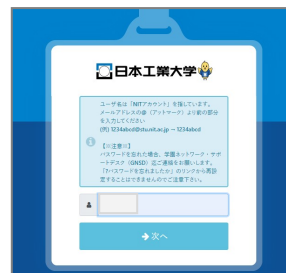
学外から電子リソースが利用できる「学認」が使えます！

一部の電子資料が、これまでのリモートアクセスサービスに加え、学認(学術認証フェデレーション)経由で学外から利用できるようになりました。

《利用対象》 本学の教職員、学生などNITアカウント をお持ちの方

《利用手順》

- 1, 学外から、NITポータルにアクセス <https://nit.ex-tic.com>
- 2, NITアカウントのユーザ名・パスワード を入力
- 3, Microsoft Authenticator、またはメール認証のワンタイムパスワードを入力してログイン
- 4, 「学認クラウドゲートウェイサービス」をクリックすると、利用できる電子リソースの一覧が表示されます。



詳しい使い方は、LCセンターのホームページ「お知らせ」からご確認ください。

データベースを2件追加しました。

「新建築データ」「JSAライブラリサーバ：JISハンドブックPLUS」

- 「新建築データ」は、雑誌『新建築』『住宅特集』『a+u』の建築プロジェクトを閲覧・検索できるサービスです。ご利用にはユーザー登録が必要です。大学のメールアドレスでご登録ください。本学では「新建築」「住宅特集」を利用できます。
- 「JSAライブラリサーバ：JISハンドブックPLUS」はJISハンドブック（JIS規格）をオンラインで閲覧できるサービスです。本学で契約してるタイトルは、22タイトルです。ID・パスワード制ですので、LCセンターのカウンターでお問合せください。

貸出ランキング

集計期間：2024年10月1日～2025年3月31日

- 1, 貸出7回
『機械・金属材料学』黒田大介 / 著 実教出版 / 刊
- 2, 貸出6回
『電力発生工学』加藤政一 [ほか] / 共著 数理工学社 / 刊
- 3, 貸出5回
『図解でわかるはじめての電子回路:改訂新版』大熊康弘 / 著 技術評論社 / 刊
『知的財産管理技能検定公式テキスト3級：国家試験：改訂14版』知的財産教育協会 / 編 アップロード / 刊
『電力発生・輸送工学』伊与田功 / 編著 オーム社 / 刊

250文字

先生のオススメ本から、
新たな扉、開いてみませんか。

ブックレビュー

『日本語教室』 井上ひさし / 著 新潮社 / 刊

発行年 2011.3

810.4
I 57

配架場所：8階

今回は、再読中の小説家井上ひさしの母校での講演録を紹介します。皆さんも聴講者となって彼のやさしく語りかける日本語の世界を追体験するのはいかがでしょうか。内容は「日本語はいまどうなっているのか」「日本語はどうつくられたのか」「日本語はどのように話されるのか」「日本語はどのように表現されるのか」の四講です。いわゆる日本語を道具として学ぶための教材とは異なり、日本語の現状や奥深さやその魅力について語られています。言葉をとおして日本人の一側面を考えることができる愛情一杯の一冊です。この機会に、普段使っている私たちの母語について考えてみませんか。

黒津 高行 (前LCセンター長)

『スピン流は科学を書き換える』 齊藤 英治 / 著 集英社インターナショナル / 刊

発行年 2024.12

549
Sa 25

配架場所：7階

電子が発見されて以来、その性質や多くの応用方法がわかってきました。照明、スマートフォン、自動車、電車など生活に欠かせないものの多くは、電子あればこそその文明の利器です。一方、電子をはじめとする素粒子は「スピン」という性質をもつことが、量子力学の分野ではよく知られています。MRI (磁気共鳴画像) 検査はスピンの代表的な応用例であり、スピントロニクスという用語も生まれています。本書では、電子のもつスピンの流れを「スピン流」と呼び、その性質などが述べられています。今後のスピン流の工学的応用に興味津々です。

増本 憲泰 (機械工学科)

『月と農業：中南米農民の有機農法と暮らしの技術』

発行年 2008.3

ハイロ・レストレポ・リベラ / 著 農山漁村文化協会 / 刊

615
R 28

配架場所：7階

本書は、ハイロ・レストレポ・リベラ著の本で、中南米の農民が月の周期を利用して有機農法を実践する方法や生活の知恵を紹介しています。自然のリズムに従った農業技術は、近代農業の技術と組み合わせることで、さらに効率的で持続可能な農業を実現する可能性を感じます。先人の知恵と現代技術の融合は、農業に限らず、読者の革新的なアイデアの創発があるかもしれないですね。環境への負荷を減らし、健康的な作物を育てるための具体的な方法が学べる一冊です。

平栗 健史 (電気情報工学科)

『勉強ギライが治る本』 齋藤 孝 / 著 宝島社 / 刊

発行年 2007.3

379.9
Sa 25

配架場所：4階

高校の教科書は、いずれも質、量ともに素晴らしいのですが、残念ながら面白いと感じることがほとんどありません。詰まらない教科書を使っているのは、勉強ギライになるのも当然と考えます。「勉強ギライが治る本」には、そんな“当然”を克服するたくさんのヒントがあります。NHKの番組「ブラタモリ」でタモリさんが披露する豊富な知識と教養は、高校までの地理や歴史、地学の授業で勉強したことが基になっているそうです。本書を読めば、単に成績が良くなるだけでなく、勉強で素晴らしい教養を身に付けることができるのかもしれない。

白木 将 (環境生命化学科)

『ディープラーニングがロボットを変える』 尾形 哲也 / 著 日刊工業新聞社 / 刊 発行年 2017.7

007.13
O 23

配架場所：3階

この本は、ディープラーニングとロボティクスの融合がもたらす未来を探る一冊です。ディープラーニングの発展により、ロボットは高度な認識力や自律性を備え、従来の制御では難しかった柔軟な動作が可能になりました。さらに進化すれば、より人間らしい判断力を持ち、複雑な環境での作業や対話も実現すると期待されます。医療や製造業、家庭用ロボットなど幅広い分野への応用が見込まれ、知能ロボットの発展に関心のある人にとって有益な内容です。

宮川 豊美 (ロボティクス学科)

『メ切本』 左右社 / 刊

発行年 2016.9

914.6
Sa 99

配架場所：8階

著名作家が綴る、メ切を守れなかったときの至極の名言集。名の知れた作家ですら期日までに原稿をあげられないのだから、小職や学生が書けないのは当たり前ではないか。念ずれば腹痛に助けられ、いや嵐すら発生させることができるのがメ切というもの。そういえば、以前の職場に某大手新聞社から電話がかかってくる。『〇〇先生いらっしゃいますか』。『本日は出校していらっしゃいません』。すぐに内線で連絡すると、一言『そう・・・』と。哀しいことに私たちは、メ切の有無にかかわらず結局なにもしないときもあるのである。

石原 次郎 (情報メディア工学科)

『こうやって頭のなかを言語化する。』 荒木 俊哉 / 著 PHP研究所 / 刊

発行年 2024.12

361.45
A 64

配架場所：4階

『考えをうまく言葉にできない・・・』と悩んだことはありませんか？『こうやって頭の中を言語化する。』は、曖昧な思考を整理し、的確に伝える力を磨く方法を教えてくれる一冊です。レポートやプレゼン、就職活動など、大学生活のあらゆる場面で求められる『言語化力』を身につければ、自分の考えに自信を持ち、他者と円滑にコミュニケーションを取れるようになります。この本を手に取り、可能性を広げてみませんか？

読み終えたときにはきっと、新たな視点を得たり、思考を整理する楽しさを実感できるはずです！

松浦 隆文 (データサイエンス学科)

『共に育つ"学生×大学×地域"：人生に響くボランティアコーディネーション』

発行年 2023.3

聖学院大学ボランティア活動支援センター / 編 聖学院大学出版会 / 刊

377.15
Ta 63

配架場所：4階

時間的にも身体的にも充実し、様々な経験が大切となる大学生の時期だからこそ、ボランティアは意義のある活動だと思います。ボランティアとは人や社会などに貢献することで、見返りを求めるものではありませんが、活動を通して多くのことを学ぶことは間違いありません。本書は、大学のボランティア活動支援センタースタッフや実際に活動を行った学生、地域の方などが学生ボランティアの意義や可能性について語っています。

『人生に響く』活動をしたいと思っている学生の皆さん、ぜひ手に取ってみてはいかがでしょうか。

野口 祐子 (建築学科)

『死神の精度』 伊坂 幸太郎 / 著 文芸春秋 / 刊

発行年 2005.6

913.6
I 68

配架場所：8階

本書は同一の世界観での6つの短い物語をまとめた短編集のため読みやすいです。

どの短編の内容も雨男でミュージックが好きな死神「千葉」が、対象となった人間の周囲で1週間過ごしながら調査をし、『生きる』べきなのか『死ぬ』べきなのかを見定めていく物語となっています。死神の行動や発言は人とは違うからなのか妙にずれているため笑いを誘ってくるのですが、逆に人ではないからこそ人の生死には怖いほどに無関心で、調査の結果の最後の生死の判断はドライなものとなっています。

最初の1編だけでも良いのでぜひ読んでみてください。

中村 耀 (共通教育学群)

「第19回ライブラリーカフェ」開催報告

2024年12月12日（水） 第3ゼミ室

今回は、機械工学科の増本憲泰先生をお迎えして、「備えあれば憂いなし？2024年版」というテーマで、映像作品などを交えて、自然災害やコンピュータ関連など、将来起こりうる危機とその対策や、危機に備えるためにどのようなものづくりをしていけば良さそうか、などをお話頂きました。

参加者37名からは、「便利な生活になっている反面、それがたくさんの危険を生んでいると感じた」「AIと共存できる世界でありたいと思いました」などの声が寄せられ、好評を博しました。



「就職・就活関連図書コーナー」を新設しました

就活用にマイナビシリーズの電子ブックを購入し、印刷や端末にダウンロードすることで、書込みができるようにしてきましたが、学生の皆さんから「就活に役立つものは、本で読みたい」との要望を複数いただきました。

そこで、「2階に就職・就活関連図書コーナー」を新設しました。貸出もできますので、LCセンターで手に取ってみてくださいね。

(※貸出図書には書込みはできません。書き込む場合はコピーを取ってください。)



ライブラリーサポーターを募集しています

LCセンターをより魅力的な場所にするため、「学生目線」でお手伝いしてくださる方を募集します。本が好き、図書館が好き、大学生活を充実させたい方など、たくさんのご応募をお待ちしております。

応募資格: 本学に在籍する学部生・院生（学科・学年不問） 無償ボランティアでの活動となります

活動期間: 年度単位 月1回程度のミーティング
イベントや作業中はその都度集まります

活動内容: ライブラリーカフェ等イベントの企画、及び運営
LCセンターの活動への提言、選書ツアーへの参加

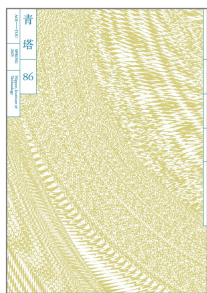
応募方法: LCセンターにて配布の応募用紙を2階カウンターに提出



ミーティング中



ライブラリーサポーターのX (旧Twitter) です。
フォローお待ちしております。
(QRコードからアクセスしてください)



『青塔』春号を発行しました

春号は、大学生活や本学での思い出などを中心に、主にご退職の教職員の皆さまにご寄稿いただきました。

LCセンター内で配布しています。
ご自由にお持ちください。
リポジトリでも公開中です。

特集展示

場所：LCセンター2階 特集展示書架

5/13（火）～6/21（土）「就職活動特集」

就職活動に役立つ図書を紹介します

5/12（月）～6/20（金）「先生と先輩のすすめる本」

250文字ブックレビュー紹介図書と選書ツアー図書を展示します

開館カレンダー（変更になる場合があります。）

2025年 4月 April							5月 May							6月 June							7月 July						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31		

通常開館日	9:00-20:30	休館日	日曜・祝祭日・本学休業日	短縮開館日	9:00-17:00	変更開館日	状況により変更
-------	------------	-----	--------------	-------	------------	-------	---------